

全国連盟通信

第32期 No.8

2018年1月5日

発行責任者

石川正三



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: zenkoku@njsf.net URL http://www.njsf.net

つなごう 支援の輪

だれもがスポーツを 楽しめるように

新年おめでとうございます。

新日本スポーツ連盟は昨年11月12日、創立52周年を迎えました。52年間スポーツ連盟がガンコに取り組んできた内容は、以下のとおりです。

- ①「スポーツきみが主人公」とフェアプレイにもとづき、だれもがスポーツを楽しめるようにすること。
- ②「スポーツは平和とともに」をかかげ、スポーツを通じて平和な社会の実現に寄与すること。
- ③人間の尊厳を守り健康で文化的な生活に不可欠なスポーツ＝スポーツ権の実現をめざすこと。

上記の3点は、今年2018年のスポーツ界および国民のスポーツをめぐる情勢と課題・展望を見定める要となる理念と目標であると考えます。

2月9日から韓国・平昌で冬季オリンピック・パラリンピックが開催されます。分断国家の緊迫した軍事境界線からわずか80キロの地、戦争の危機が身近にせまる都市での開催です。なんとしても平和でなければなりません。バンクーバー冬季五輪のフィギュアスケート金メダリストのキム・ヨナさんは、国連・平和の日記念式典(2010年9月18日)に於いて、

飢餓や貧困問題とともにスポーツと平和の関係について演説し、「スポーツはあくまでも平和があるところに存在している。平和があつてこそスポーツが存在し、スポーツがあつてこそ平和もある」と述べました。平昌ではいまこそ、この精神が必要です。「オリンピックは平和とともに」を平昌で実現するために声を上げましょう。

各種の世論調査で、スポーツ実施率が減少しています。単に率の問題ではありません。「スポーツを楽しむ」ことが暮らしの中からなくなり、「スポーツどころではない」社会は、貧困と格差、不寛容と分断の社会、そして戦争する社会へとつながるイエローカードの社会です。あらゆるスポーツ関係者が知恵と力を寄せ合い、「スポーツを楽しむ」仲間を広げましょう。

「スポーツ万人の権利」の理念を活かす年です。新日本スポーツ連盟第33回全国総会を新たな出発点にしましょう。

2018年1月1日

会長 和食昭夫

▼2017全国競技大会の活動から



2017年12月、都内で32期第7回全国理事会が行われ、27名が出席し、評議員会に提案する「総会議案(素案)」などについて論議しました。

冒頭、和食会長は「この理事会は2つの仕事がある。①立てた目標についての取り組みを総括すること、②総会議案を作り上げる論議をすること。日本のスポーツ実施率は下降している。金、施設、指導者、時間と無いづくし。『これでいいのか?』を皆で考えよう。そういう総会に!」と述べました。

続いて石川理事長が「総会議案(素案)」の内容を提案。「1章でスポーツ状況をとらえて、2章でスポーツ連盟の日常活動を行っている各部局と研究所による活動総括と方針という構成にした。この理事会での討議内容を整理し、議案に盛り込みたい」と説明しました。

議論された主な内容と今後の活動

①議案(素案)に対する意見

・「明るい笑顔になるような議案を」「楽しくやれるようなキャッチフレーズがないか」「新たな事業・組織については具体例を」「実際の組織実態を後退させないという記述に」「スポーツ基本法の現状を入れてほしい」などの意見があり、これをふまえて議案起草委員会で調整をすることになった。

②第32回全国スポーツ祭典(2018年)

・11月の祭典事務局会議でスローガンを決定。「東北発 広げよう スポーツの輪」。
・「開催主旨」「実施要項」などの基本文書については、今後、実行委員会事務局と協議し、全体像を示すようにする。

③スポーツ活動局

・2019年に「組織拡大交流会議」開催の予定。
・全国連盟と種目組織との懇談は、今後テニス、卓球…と続けていく。

④被爆75年福島～東京～広島～長崎1800km反核平和マラソン(2020年)

・通しランナーの参加に加えて、各ブロックの区間を走るブロックランナーを組織して、タスキをつなぐマラソンとする。

⑤国際活動

・フランスから「スタン市陸上クラブの8名が広島

～長崎平和マラソンへの参加を希望する」旨の連絡が届いている。

・2018年は、平昌五輪観戦ツアー(韓国体育市民連帯との懇談)、仏ダブルダッチ代表団の来日など、交流協定以外での取り組みが予定されている。

⑥広報

・「スポーツのひろば」購読数は2400部を下回り、普及へのモチベーションを上げるために対策が必要。
・各大会運営の効率化を図るために、インターネットからの参加申し込みシステムの運用を検討する。

⑦総務関係

・災害対応については、「防災タウンページ」の活用を呼びかける。

避難所マップ、避難行動、応急手当などを掲載。各地域版がある。スマホ用アプリも。



・2015年に制作した「50年史」在庫(360冊)は、スポーツ連盟が研究所から買い取り、各地に無償で進呈するなどの活用を図る。

⑧女性ネットワーク

・会員を対象にアンケートを実施。「やってみたいスポーツは?」の回答から、教室(ヨガ、スタンドアップパドルなど)や観戦ツアーなどを検討する。
・メンバーのリストを作成する。

⑨スポーツ科学研究所

・第7回研究会(3月28～29日)を予定。テーマは「2012年ロンドン・オリパラで残されたレガシーは何であったのか?」
・年報第2号は、2018年1月上旬に発行。

⑩北海道テニス協の状況報告

・スタッフが減少することで、来年の大会開催数も縮小されることになる。
・北海道連盟、全国テニス協が協力して再生を図ることを基本とする。

⑪原水爆禁止日本協議会への加盟について

・国民平和大行進への取り組みを発展させるために、スポーツ連盟として加盟することを評議員会に提案する。

⑫第33回定期全国総会に向けて

・総会の日程、総会役員、事務局体制、評議員・役員
の推薦内容などについて確認をした。

第33回全国総会 議案の論議にあたって

過去の総会議案の構成をみると、変化をきています。今回は、第1章で第31期2年間の活動の特徴と課題として、現在の日常的な運営を行っている5つの部局の活動内容について記述しています。第2章は、「スポーツをめぐる情勢と連盟の課題」として、国のスポーツ振興策やスポーツ基本法の下で、私たちのスポーツ環境がどのようになっているかを見ています。第3章は、前記の内容に基づいて、次の期の方針を「新たなチャレンジをしよう」と提起をしています。

今回、議案起草委員会の立ち上げ、役割分担で遅れがあったことや、全国理事会の議案準備との関係で、①日常の運営を行っている「各部局」の総括・方針は部局長が執筆することとし、②そのため、理事会議案と重なることから総会議案を構成する一部として事前配信をすること、③国のスポーツ情勢は理事長がまとめることとしました。

また議案の構成は、第1章でスポーツ状況をとらえて、第2章でスポーツ連盟の日常活動を行っている5局とスポーツ科学研究所の活動総括とそれぞれの方針という記述にしました。記述も、第2章はそれぞれの部局で行いました。

このようにして作成された議案(素案)を、第7回理事会(12/9-10)に提案。そこで出された意見、疑問を整理し修正を加え、第二次案を作成しました。また、「全国種目組織、都道府県連盟の活動」についても議案を構成する内容として、都道府県連盟と全国種目組織の活動報告から共通する内容で簡潔に記述したいと考えています。

年内に改めて二次案をお送りします。そのうえで、年明け(1月12日〆切)に意見集約し、評議員会への提案にさせていただきます。

(全国連盟理事長 石川正三)

大会・行事で「ひろば」宣伝誌の配布を

各地から送っていただいた活動レポートが「ひろば」に掲載されたら、ぜひ次回の大会・行事会場で「ひろば」宣伝誌を配布して宣伝しましょう。無料宣伝誌をお送りします。

また、各種目の競技結果や活動レポートを大募集していますので、ぜひ送ってください。よろしくお願ひします。(広報局 佐藤信樹)

「ひろば」アンケート

試合での「ゲン担ぎ」する派？しない派？

メール・FAX・ハガキ(送付先は下記参照)で、「する派orしない派」「(できれば)その理由」「(する派の場合)どんなゲン担ぎか」「氏名」「種目」「都道府県」を明記のうえ、ひろば編集部へ送ってください。

ひろば編集部へのメールは

 hiroba@njsf.net



2018年
1・2月号

現在

2394部



1・2月号は…
特集「あるく」

スポーツをする人には「歩くのがオススメ!」という切り口で、今回はいろいろな「歩き」の考え方、歩くスタイルを紹介しています。ウォーカーの方も、他の種目の方もぜひ参考にしてください。

小さな動きが集まれば 大きな流れとなつて実を結ぶ

6月の組織拡大交流会議から半年が経過しました。その後、それぞれの組織でこの会議で出た課題や問題点等を持ち帰り、理事会や運営委員会で討論していることと思います。

組織拡大に向けて小さな流れがいくつも生まれています。各組織での小さな動きが集まれば、組織全体で大きな流れとなつて実ります。ささいなことでも話し合い、叡智を集めて仲間づくりを進め、より大きな組織をめざして、そしてスポーツ連盟を大きくしていきましょう。全国連盟と全国種目組織との懇談も今後、水泳、テニス・・・と順次行う予定です。

(スポーツ活動・組織局・宮内泰明)

各地での組織拡大の動き

- ・2018年3月 群馬で卓球協議会結成の予定
- ・栃木でも卓球協議会の準備すすむ
- ・石川県連盟、スキーとウォーキングで微増
- ・愛知テニス協議会が150名の増加
- ・三重卓球協議会が13名⇒124名に増加
- ・広島卓球協議会が1.6倍の400名に
- ・長崎、熊本で卓球協議会結成の予定
- ・千葉県で水泳大会を開催予定

2017全国競技大会 各種目で開催

スポーツ連盟の2017年度全国競技大会が11種目で開催されています。

●水泳 (11月3日 東京辰巳国際水泳場)

108団体、821名の選手が参加。リレー種目での得点の合計を競う団体賞は、ウィッチモンズが優勝しました。

●軟式野球 (11月11～12日 千葉県)

旭川ドジャーズは、北海道勢としては初の嬉しい4強。決勝は九州代表と四国代表の対戦となり、Nissho野球部(福岡)が初優勝を飾りました。

●バレーボール (11月11～12日 石川県)

男子は、摂津排球会(大阪)が決勝でJOY(東京)を2-0で制して優勝。女子は、PRINCESS(愛知)に接戦で勝利した健友会(千葉)が優勝を果たしました。

●ミックスバレーボール (12月2～3日 宮城県)

東北復興支援として宮城県気仙沼市の体育館で開催。25チームが出場し、兵庫のブラピが4年ぶり3回目の優勝を果たしました。

●バドミントン (12月2～3日 愛知県)

延べ150組、8都府県からの参加。男子1部は、東京の久世・福嶋ペアが優勝しましたが、準優勝の世古・岡野ペアを始めとした京都勢の活躍が一際目立ちました。

●テニス (11月11～12日 埼玉県)

福岡県同士の対戦となった男子シングルス決勝は、八尋選手が勝利。女子シングルスは、昨年覇者の吉見選手(静岡)を制した畑山選手(千葉)がV。

●シニアサッカー (11月11～12日 大阪府)

東京、神奈川、兵庫、和歌山、大阪から年齢別に40カテゴリ、50カテゴリで17チームが出場。40カテゴリ、50カテゴリとも大阪のチームが優勝しました。

●卓球 一般の部 (12月2～3日 福岡県)

男子団体は、TOM&卓球三昧(東京)が2年ぶりに優勝。女子団体、TEAM ZERO(東京)が初優勝しました。個人戦は、男子は野村夏樹選手(東京・teamケアリッツ)、女子は薄井佳選手(東京・Blue☆star)がV。

●西日本ソフトボール (11月11～12日 和歌山県)

7府県から14チームが出場。三河Bakabond(愛知)が攻守揃った力を発揮し、連覇を達成しました。

●東日本ソフトボール (9月17～18日 静岡県)

台風により初日は中止。2日目は、12チームでの交流試合を行いました。

●ウォーキング (9月30日～10月1日 静岡県)

全国から集まったウォーカー 167人が、伊豆・踊子歩道を歩き、交流しました。旧天城トンネルでは、踊り子と学生さんとのにぎやかな撮影会に。

東北発 広げよう スポーツの輪

今年9月から東北ブロックを中心に開催される全国スポーツ祭典の準備がすすめられています。

今回の祭典スローガンは、各組織役員の投票結果をふまえて、昨年11月に行われた祭典事務局会議で「東北発 広げよう スポーツの輪」に決定しました。ポスターやメダルについては、現在デザイン案を製作中です。

また、2月10日（18時～19時30分）に、東京・池袋の生活産業プラザ（ECOとしま）で「第32回全国スポーツ祭典第2回実行委員会」を開催します。各組織の準備状況や今後の取り組みについての確認と意志統一を図る重要な会議となりますので、関係者の方々は、出席くださいますようお願いいたします。

2018-19年 第32回全国スポーツ祭典〈東北ブロック〉 開催一覧（予定）

陸上競技	9月29日	東京都 駒沢オリンピック公園陸上競技場（予）
水泳	（未定）	
軟式野球	11月3～4日	岩手県 花巻球場ほか3球場
バレーボール	11月10～11日	新潟県 長岡市内の体育館
ミックスバレーボール	12月1～2日	長野県 長野総合運動公園総合体育館
卓球	一般の部 11月17～18日 年代別の部（未定）	岩手県 奥州市総合体育館Zアリーナ 大阪府
テニス	11月17～18日	宮城県 泉総合運動公園庭球場
バドミントン	（未定）	
サッカー	（未定）	
サッカーシニア	11月3～4日	岩手県 花巻市営スポーツキャンプ村
ソフトボール	11月10～11日	福島県 伊達市月舘運動場（予）
ウォーキング	10月6～7日	宮城県 松島海岸
スキー	2019年3月2～3日	新潟県 キューピットバレースキー場
バスケットボール	11月3～4日	愛知県 名古屋市南村スポーツセンター
ゴルフ	11月15日	埼玉県 川越グリーンクロス
登山	（未定）	宮城県 栗駒山周辺
空手	11月23日	東京都 東京武道館

スポーツ科学研究所 第7回研究会

テーマ

2012年ロンドン・オリパラで 残されたレガシーは何であったのか？

期日：2018年3月28日（水）・29日（木）

会場：東京近辺を予定

報告：金子史弥さん（筑波大学）

大沼義彦さん（日本女子大学）

2012年ロンドン・オリパラは成功だったと日本でも言われているが、実際には、何が成功したのか、どんな問題や課題を残したのか、といった客観的な分析をもとに討論をします。

第33回定期全国総会 準備に関するお願い

新日本スポーツ連盟の第33回定期全国総会は、3月10～11日に開催されます。

2017年12月11日に、各組織に対し、「32期活動報告及び33期の活動方針・計画」ならびに「第33期分担金基準現勢報告用紙」、「代議員登録用紙」、「33期役員推薦・立候補用紙」を送付し、総会準備のスタートをきりました。

また現在起草中の総会議案については、1月中旬ごろ、都道府県連盟、全国種目組織、評議員、連盟理事・役員へ送り、意見集約を行う予定です。多くの組織で論議いただき、意見をお寄せください。みなさんの意見で、議案を作り上げましょう。

なお、各提出資料の期限は下記の通りです。期限までの提出をよろしくお願いいたします。

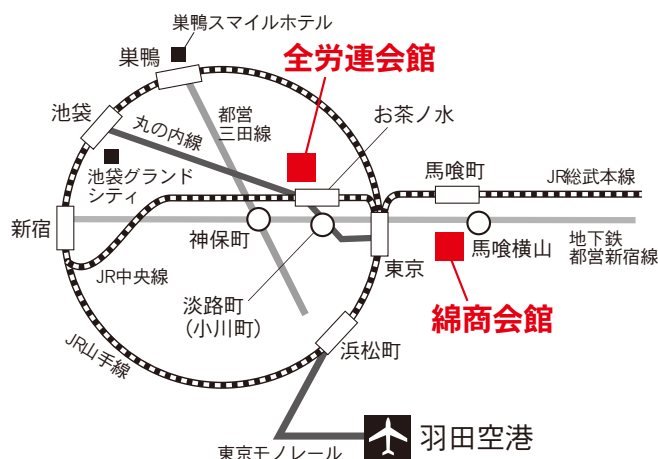
第33回定期全国総会までのスケジュール

1月9日	(火)	第33期役員推薦・立候補、期評議員推薦、第33回総会代議員受付開始
1月中旬		第33回総会議案第二次案 送付予定
1月19日	(金)	組織現勢調査提出締め切り
2月2日	(金)	総会議案等評議員会資料発送予定
2月10～11日		32期第2回評議員会（池袋）／全国連盟第8回理事会
2月19日	(月)	第33回全国総会代議員及び代議員交通費申請締め切り
		第33期スポーツ連盟役員推薦受付締め切り
		第32回全国総会分担金納入期限
2月26日	(金)	第33期スポーツ連盟役員立候補受付締め切り
3月1日	(木)	「第33回定期全国総会議案・資料」発送予定
3月10～11日		第33回定期全国総会 10日(土)14:00～20:00 全労連会館
		11日(日)9:00～12:00 綿商会館

第33回定期全国総会

2018年3月10日(土)14:00～20:00(受付13:30) 全労連会館 文京区湯島2-4-4(JR御茶ノ水駅)
3月11日(日)9:00～12:00 綿商会館 中央区日本橋富沢町8-10(JR馬喰町駅)

- ※ 評議員定数分の交通費を派遣組織に支給します。事前に正確な実費を申請してください(2月19日締切)。
- ※ ホテルは池袋グランドシティ、巣鴨スマイルホテルのいずれかとなります(宿泊費は所属組織または各自の負担、1泊素泊まり8700円)。
- ※ 10日夜は、懇親会を予定しています(会費は4千円の予定)。
- ※ 総会終了後、綿商会館会議室の使用が可能です。全国会議などの活用を希望する組織は、総会事務局までご相談ください。



月例マラソン「ランナーズ賞」を受賞！

2017年11月30日、新日本スポーツ連盟を中心に主催する各地の「月例マラソン」が第30回ランナーズ賞（一般財団法人アールビーズスポーツ財団主催）を受賞しました。

1972年、大阪・高槻で始まり、現在全国9カ所で行われている「月例マラソン」は、事前エントリーなしの当日受付、基本1000円、誰もが気軽に参加できるスタイルが市民ランナーに支持されることが評価され、今回の受賞となりました。

今年10月に通算500回を迎えた「川崎月例マラソン」は、40年の歴史で中止したのは2回だけ。壇上に上がった川崎月例マラソン実行委員長の佐藤静雄さんに、選考委員長の増田明美さんは「2回しか休んでないんですね。びっくりしました。当時から記録を取るパイオニアの大会です。1000回目指して頑張ってください」と声をかけ、賞を贈りました。

佐藤さんは「500回目は台風の直撃に遭ったが223名が完走した。気軽に走れるのが魅力で、運営に加わってくれる若い参加者も出てきた。若い世代と一緒に継続していけるようにしたい。参加者も含めての受賞と考えている」と喜びを語りました。



ランナーズ賞とは…長年にわたり、ランニング分野での地道で有意義な活動をされている個人、団体の功績を讃える賞。月刊誌「ランナーズ」を発行するアールビーズ主催。選考委員長は、元マラソンランナーの増田明美氏。



月例マラソン

1972年、大阪・高槻で始まり、気軽に参加できるロードレース大会として全国に広がる。現在、宮城、東京（赤羽・多摩）、神奈川（横浜・川崎・湘南）、滋賀、大阪（泉北）、福岡の9ヶ所で実施されている。

大会行事のPRに！ フェイスブックを活用しましょう

（特徴1）情報を広く発信できる。



「いいね！」と表明してくれた人に、スポーツ連盟の情報がどんどん届く仕組みになっています。

（特徴2）思わぬところから反響がある。

東京都連盟は、剣道大会の情報をフェイスブックに流したところ、なんと岐阜県からの参加が！

（特徴3）簡単に投稿ができる。

全国連盟広報局で開設サポートします
お問い合わせください

スポーツ連盟の スポーツ仲間の『助けあい』を！ 傷害見舞金制度



行事加入型

1行事1人70円（1大会2日間まで対応）

スポーツ連盟もしくは加盟団体・クラブが主催する競技大会等の行事で発生した傷害と特定疾病を対象に給付が行われます。

詳しくは全国連盟 傷害見舞金係まで

給付金

死亡見舞金	（傷害）	200万円
	（特定疾病）	150万円
後遺障害見舞金（最高）	（傷害）	200万円
	（特定疾病）	150万円
入院見舞金日額	（傷害）	3,000円
	（特定疾病）	2,000円
手術見舞金	入院日額の10倍・20倍・40倍	
通院見舞金日額	（傷害）	2,000円
	（特定疾病）	1,000円

第32-33期全国会議及び主要事業予定一覧

(2018年1月～6月)

1月	7日	全国縦断新春マラソン(大阪)	
	14日	全国縦断新春マラソン(神奈川、愛知、兵庫、和歌山、福岡)	
	28日		全国サッカー協運営委員会
	27～28日		第53回全国卓球選手権大会 年代別の部(愛知県豊田市)
2月	1日	「スポーツのひろば」3月号発行	
	10～11日	32期第2回評議員会・第8回理事会	
	17～18日		日本勤労者山岳連盟総会
	22～28日		全国ウォーキング協 ベトナムウォーク
	24～25日		全国テニス協理事会
	25日		サッカーFinal Cup(大阪府堺市)
3月	2日	「スポーツのひろば」4月号発行	
	3～4日		全国スキー競技大会(長野県)
	4日		全国サッカー協総会
	10～11日	33回定期全国総会	
	11日		全国ウォーキング協総会
	11日		全国ミックスバレーボールセンター総会
	17～18日		スキー協CUP(新潟県)
	21日		京都府連盟総会
	25日		千葉県連盟総会
4月	2日	「スポーツのひろば」5月号発行	
5月	2日	「スポーツのひろば」6月号発行	
6月	4日	「スポーツのひろば」7・8月号発行	
	9～10日		全国スキー協総会
	10日		神奈川県連盟総会
	17日		三重県連盟総会

*追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。

第32期 第2回評議員会のお知らせ

日 時 2018年2月10日(土) 14時30分～2月11日(日) 15時
会場 = 生活産業プラザ(ECOとしま) 3F大会議室
東京都豊島区東池袋1丁目20-15 TEL: 03-5992-7011

予定議題(順不同)

- (1) 第33回全国総会議案論議
- (2) 第33期の理事会機構と人事
- (3) 第32期決算と第33期予算案
- (4) 第33回総会諸準備について
 - ①議事日程、運営体制 ②討論の進め方 ③準備日程他
- (5) 第32回全国スポーツ祭典関連
- (6) その他

出席対象: ①評議員 ②理事 ③会長、副会長 ④監事

第32期第2回評議員会は、左記の日程で開催されます。

評議員会は、総会に次ぐ決議機関であり、理事会が提案する議案を審議し決定する役割をもつものです。

今回の評議員会は、2018年3月の第33回全国総会議案について論議し、来期の活動方針を検討する会議となります。

なお、評議員は「各連盟組織の代表」としての性格を持っていますので、本人が出席できない場合は、必ず「代理出席」の手配を行なってください。